

食物栄養学科 教養教育科目 講義要項

目 次

【2年前期】	
体育実技	275～277
【2年後期】	
倫理学	278～280

科目名	担当代表教員	学年	期別	形態	必選	単位数
体育実技	本多 辰之	2	前期	実技	選択	1
	担当形態	複数	ナンバリング		FN2102	
	担当教員	本多 辰之、山本 龍介				
【キーワード】	【概要】					
1 教養科目	大学で行う体育とは、人として生涯健康に生きるための教養を身に付けることにある。従い運動が健康に与える影響について身を持って体験し、健康を維持していくための運動学習の中で、将来のライフステージに応用できる知識・技能・態度を身につける。さらに、運動活動は高校までの体育で培った技能や経験により、多様性が表れやすいが、本授業はこれまでの技能のみには頼らない、多様性を認め、活かすチームワークづくりを目指すスポーツ・運動を行う。 ※理解度や進捗度、施設の状況などにより、授業内容を変更することもある。					
2 運動						
3 健康						
4 体力						
5 チームづくり						
【到達目標】						
1. 運動を通じて、自らの健康を維持・改善していくための資質や能力を養うことができる。 2. 多様性を認め、活かしていくチームが作れる。 3. 日常生活に運動を取り入れる習慣を身に付けることができる。						
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】						関連性
【知識・理解・技能】						
1. 栄養と健康に必要な専門的知識を修得している。						
2. 望ましい健康的な食生活の実践について理解している。						
3. 食事作りに関する実践的な技能を身に付けている。						
【思考・判断・表現】						
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。						○
2. 食と栄養の専門家として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。						
3. 健康増進の意図やねらいを、栄養指導を通じて表現することができる。						
【関心・意欲・態度】						
1. 食を取り巻く社会の現状に関心を持っている。						
2. 給食管理に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。						
3. 食を通じた健康づくりを尊重する態度を身に付けている。						
【成績評価の方法】						
成績指標	受講態度		実技・課題・提出物			合計
評価割合 (%)	30		70			100
【成績評価の基準】						
評価	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下	
評語	S	A	B	C	E	F
GP	4.0	3.0	2.0	1.0	0	0
【評価内容】 (ルーブリック) *各評価項目は、配分が異なる。						
評価項目	4	3	2	1		
健康への意識	授業を理解し、生活に汎用できている	授業を理解できそれを生活全体に活かそうと心がけている	授業の主旨を理解し、授業に参加している	授業に参加した		
他者との連携	多様性を理解し、その中でもリーダーシップを発揮でき、よりよく活動を進める	多様性を理解し、他者への役割を理解した態度で取り組める	他者への配慮ができる	チーム活動に参加した		
自己形成	自己の能力を向上させるために様々な方法を試し、それが発揮させられる	自己の能力を向上するための様々な方法を工夫している	自己の能力を向上させるために活動に取り組んでいる	活動に取り組んでいる		
レポート	与えられた課題内容を多面的にとらえることができる	与えられた課題内容が的確に答られている	必要な課題を記入している	課題を提出した		

【課題（試験・レポート等）に対するフィードバックの方法】 課題については返却時にコメントを付ける。		
【教科書】 資料配布		
【参考書・参考資料等】 随時紹介		
【関連科目】 なし		
【受講心得】 積極的に授業に参加し、学生として然るべき受講態度で臨むこと。 毎回、ジャージ、体育館シューズを着用のこと。		
【備考】 保育士課程必修、幼稚園教諭必修		
【学習項目】	担当	学習内容、事前・事後学習（学習時間）
1 オリエンテーション（アイスブレイク）	本多 山本	【学習内容】本授業の流れを説明後、アイスブレイクを行ない、心と体をほぐす 【事前学習】シラバスを確認しておく 【事後学習】学習内容を振り返る (事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間
2 体力測定	本多 山本	【学習内容】体力測定（握力・上体起こし・長座体前屈・反復横跳び）を行う 【事前学習】全国平均値を確認しておく 【事後学習】学習内容を振り返る (事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間
3 体力測定	本多 山本	【学習内容】体力測定（シャトルラン・立ち幅跳び）を行う。自ら評価をし、体力を把握する。 【事前学習】全国平均値を確認しておく 【事後学習】学習内容を振り返る (事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間
4 適切な運動実践	本多	【学習内容】自身の運動能力に応じた運動の実践方法を学ぶ 【事前学習】体力測定を振り返る。 【事後学習】学習内容を振り返る (事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間
5 体づくり運動	本多	【学習内容】体ほぐし運動の中から、体の調子を整えたり、仲間と交流を図ったり、体の気づきを促したりするような運動について解説・実践する。 【事前学習】体ほぐしについて調べておく 【事後学習】学習内容を振り返る (事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間
6 ニュースポーツ	本多	【学習内容】身体機能の充実を図る運動の中から、筋力・思考力・瞬発力等を高めたりするような運動について取り上げ、解説・実践する 【事前学習】ルールを確認しておく 【事後学習】学習内容を振り返る (事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間

7	ニュースポーツ	本多	<p>【学習内容】走・跳の運動の中からタグラグビーを取り上げ、学習のねらい、学習内容、指導法について解説・実践する。</p> <p>【事前学習】ルールを確認しておく</p> <p>【事後学習】学習内容を振り返る</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間</p>
8	表現運動	本多	<p>【学習内容】表現運動の中から、イメージに触発されて製作される運動を取り上げ、学習のねらい、学習内容、指導法について解説・実践する。</p> <p>【事前学習】ルールを確認しておく【事後学習】学習内容を振り返る</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間</p>
9	表現運動②	本多	<p>【学習内容】リズム運動の中から、音楽に触発されて製作される運動や型が決まった踊りを取り上げ、学習のねらい、学習内容、指導法について解説・実践する。</p> <p>【事前学習】リズム運動を調べておく</p> <p>【事後学習】学習内容を振り返る</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間</p>
10	準備運動とストレッチング アイスブレイク	山本	<p>【学習内容】身体だけでなく心もほぐせるように、ストレッチやアイスブレイクを実践する</p> <p>【事前学習】ストレッチやアイスブレイクの必要性について調べてまとめる</p> <p>【事後学習】学習内容を振り返る</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間</p>
11	音楽を使った運動	山本	<p>【学習内容】音楽を使いながら体を動かすことで、効率よく楽しく運動できることを実践の中で理解する。</p> <p>【事前学習】自身の運動能力にあったダンスやリズム体操を調べておく</p> <p>【事後学習】学習内容を振り返る</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間</p>
12	道具をつかわない運動	山本	<p>【学習内容】道具を必要としない運動やあそびの中から遊びの原点でもある鬼あそびを取り上げ、実践を通して体を動かす本来の意味について理解する</p> <p>【事前学習】様々な鬼あそびについて調べておく</p> <p>【事後学習】学習内容を振り返る</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間</p>
13	縄・フープを用いた運動	山本	<p>【学習内容】縄やフープの特性を理解し、なかまと一緒に体を動かす楽しさを実践の中で感じる</p> <p>【事前学習】縄やフープの特性の調べ、それに伴う運動やストレッチ方法について調べておく</p> <p>【事後学習】学習内容を振り返る</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間</p>
14	ボールを用いた運動	山本	<p>【学習内容】ボールをつかった運動がもたらす、身体への効能など、実践を通して解説する</p> <p>【事前学習】ボールを使った運動やストレッチについて調べておく</p> <p>【事後学習】学習内容を振り返る</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間</p>
15	身近な道具を使った運動	山本	<p>【学習内容】身近な素材であるタオルを使ったストレッチ法等、いつでもどこでも気軽に運動できるように解説、実践する</p> <p>【事前学習】タオルを使った運動やストレッチについて調べておく</p> <p>【事後学習】学習内容を振り返る</p> <p>(事前学習) 0.5 時間 (事後学習) 0.5 時間</p>

科目名	担当代表教員	学年	期別	形態	必選	単位数
倫理学	石橋 孝明	2	後期	講義	選択	2
	担当形態	単独	ナンバリング		FN2101	
	担当教員	石橋 孝明				
【キーワード】	【概要】					
1 生命倫理	人間だけが自覚的に生き、そして死んでいく。では、わたしたちは、どのように生き、死んでいこうとするのか。よく生き、よく死ぬことを目指すのではないだろうか。本講義では、このよく生き、よく死ぬことを、具体的な場面を設定することで考察し、生命の問題を倫理的視点のもとに考えていく。そして、このことを通して、倫理学の諸問題について考える。具体的事例としては、1970年代以降アメリカを中心に形成された「生命倫理学」の諸問題などを挙げて講義する。また、保育士・幼稚園教諭として働くことの意味・意義についても考察する。					
2 生						
3 死						
4 働くこと						
5 考える力						
【到達目標】						
1. 生命倫理に関する基礎的な知識を習得し、自分の言葉で説明できる。						
2. 働くことについて基礎的な知識を習得し、自分の言葉で説明できる。						
3. 現代社会の諸問題について、多様な広い視野から思考し、それを自分の言葉で説明できる。						
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】						関連性
【知識・理解・技能】						
1. 栄養と健康に必要な専門的知識を修得している。						
2. 望ましい健康的な食生活の実践について理解している。						
3. 食事作りに関する実践的な技能を身に付けている。						
【思考・判断・表現】						
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。						○
2. 食と栄養の専門家として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。						
3. 健康増進の意図やねらいを、栄養指導を通じて表現することができる。						
【関心・意欲・態度】						
1. 食を取り巻く社会の現状に関心を持っている。						
2. 給食管理に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。						
3. 食を通じた健康づくりを尊重する態度を身に付けている。						
【成績評価の方法】						
成績指標	定期試験		課題への取組			合計
評価割合 (%)	60		40			100
【成績評価の基準】						
評価	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下	
評語	S	A	B	C	E	F
GP	4.0	3.0	2.0	1.0	0	0
【課題（試験・レポート等）に対するフィードバックの方法】						
課題提出の次の授業で提出された内容についてコメントする。試験結果に関しては、試験後、面談に応じる。希望者は申し出ること。						
【教科書】						
なし						

【参考書・参考資料等】

『よく生き、よく死ぬための、生命倫理学』 篠原・石橋 編 ナカニシヤ出版
 『考えよう！生と死のこと—基礎から学ぶ生命倫理と死生学—』 波多江・寺田・脇 編 木星舎
 『FACTFULNESS』 ハンス・ロスリング他 著 日経BP社
 その他は講義中に指示する。

【関連科目】

なし

【受講心得】

ノート講義（パワーポイント使用）、筆記用具を持参し、受講中は私語・携帯電話操作等をせず、授業に集中すること。 学生との相談・授業の進行状況により授業計画の一部変更もありうる。

【備考】

【学習項目】	担当	学習内容、事前・事後学習（学習時間）
1 オリエンテーション 倫理学とは何か・授業の進め方・取り扱うテーマの説明		<学習内容>資料を配布しパワーポイントで倫理学とは何か、そしてどのようなテーマについて授業をしていくのか等について説明する <事前学習>シラバスを見て授業内容がどのようなものになるのか考えてくる <事後学習>授業中に配布した資料を見直して本日の授業を振り返る (事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間
2 生命倫理（1）人工授精と体外受精、出生前診断と着床前診断		<学習内容>生命の誕生に関する医療倫理における諸問題を考える <事前学習>人工授精と体外受精、出生前診断と着床前診断について自分なりに下調べしてくる <事後学習>授業中に配布した資料を見直して本日の授業を振り返る (事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間
3 生命倫理（2）技術革新の先に見えてくるもの		<学習内容>医療倫理を例にとり、技術革新と倫理の問題を考える <事前学習>技術革新でどんな問題が生じてくるのか、そのプラス面とマイナス面を自分なりに下調べしてくる <事後学習>授業中に配布した資料を見直して本日の授業を振り返る (事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間
4 生命倫理（3）救世主きょうだい「私の中のあなた」（ビデオ鑑賞）		<学習内容>姉を助けるためにデザイナーベビーとして生まれた妹の反乱をめぐる家族の葛藤について、ビデオを観ることで生きること死ぬことについて考える <事前学習>これまでの時間に扱ったデザイナーベビーのことを振り返り、自分の身に置き換えて考えてくる <事後学習>ビデオの内容を自分なりにまとめてくる (事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間
5 生命倫理（4）救世主きょうだい「私の中のあなた」について討議		<学習内容>ビデオを観てまとめてきたことを発表しあい、共通の注目点について議論を深めていく <事前学習>自分でまとめた内容について要点を発表できるようにしてくる <事後学習>様々な意見を比較検討し、考えを深める (事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間
6 生命倫理（5）性同一性障害		<学習内容>性同一性障害について考える、そしてLGBTQの権利主張についても考える <事前学習>性同一性障害、LGBTQについて自分なりに下調べしてくる <事後学習>授業中に配布した資料を見直して本日の授業を振り返る (事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間

7	生命倫理（6）脳死と臓器移植	<p><学習内容>脳死と臓器移植に関わる諸問題について考える</p> <p><事前学習>脳死と臓器移植について自分なりに下調べをしてくる</p> <p><事後学習>授業中に配布した資料を見直して本日の授業を振り返る</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間</p>
8	生命倫理（7）延命治療、尊厳死、安楽死	<p><学習内容>延命治療、尊厳死、安楽死に関わる諸問題について考察する</p> <p><事前学習>延命治療、尊厳死、安楽死について自分なりに下調べしてくる</p> <p><事後学習>授業中に配布した資料を見直して本日の授業を振り返る</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間</p>
9	生命倫理（8）寿命を延ばすことと人生の意義	<p><学習内容>寿命が延びること、さらには不死が実現すると、どのようなことが生じるかを考え、生と死について考察する</p> <p><事前学習>死なないとすればどういうことが考えられるか自分なりに下調べしてくる</p> <p><事後学習>授業中に配布した資料を見直して本日の授業を振り返る</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間</p>
10	生命倫理（9）ブタがいた教室（ビデオ鑑賞）	<p><学習内容>「ブタを飼いそれを食べるという取り組み」のビデオを観ることで、生命について考える</p> <p><事前学習>生き物を育てて食べることについて考えてくる</p> <p><事後学習>ビデオの内容を自分なりにまとめてくる</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間</p>
11	生命倫理（10）ブタがいた教室について討議	<p><学習内容>ビデオを観てまとめたことを発表しあい、共通の注目点について議論を深めていく</p> <p><事前学習>自分でまとめた内容について要点を発表できるようにしてくる</p> <p><事後学習>様々な意見を比較検討し、考えを深める</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間</p>
12	働くことについて考える（1）働くことの意味	<p><学習内容>私たちはなぜ働くのかを考える。働くことは自分にとってどんな意味があるのか、そして働くことは対他関係の中でどんな意味をもつのかを考える</p> <p><事前学習>私たちはなぜ働くのか自分なりに考えてくる</p> <p><事後学習>授業中に配布した資料を見直して本日の授業を振り返る</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間</p>
13	働くことについて考える（2）栄養士として働くこと	<p><学習内容>栄養士として働くことを、前回の授業を踏まえて、様々な観点から考える</p> <p><事前学習>自らが就こうとしている仕事の、自分にとっての意味、社会の中での意味を考えてくる</p> <p><事後学習>授業中に配布した資料を見直して本日の授業を振り返る</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間</p>
14	世界の見方（1）『ファクトフルネス』	<p><学習内容>『ファクトフルネス』に即して世界の見方を学ぶ</p> <p><事前学習>『ファクトフルネス』について下調べしてくる</p> <p><事後学習>授業中に配布した資料を見直して本日の授業を振り返る</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間</p>
15	講義の振り返り	<p><学習内容>これまでの講義のポイントを振り返り、その中でとりわけ関心の持ったテーマについて各自論述する。</p> <p><事前学習>配布した資料を見返して、これまでの授業でどんなことを考えたか振り返ってくる</p> <p><事後学習>授業中に論じた内容を推敲する</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間</p>
16	試験	